

トピックス

同志社ローム記念館 オープン10周年!!
記念イベント始動!!



同志社ローム記念館が、2013年9月でオープン10周年を迎えるのを記念して、「Interaction」をテーマに、京田辺市とも連携した10の企画を準備中です。

館の主な事業である「同志社ローム記念館プロジェクト」も、今期を含め、約2000人のメンバーが活動に取り組んできました。今回の企画には、「同志社ローム記念館プロジェクト」10年の歴史の中からよみがえる「リバイバルプロジェクト」も含まれます。

短期プロジェクトとして実施するのは、次の2件。

- ①京田辺市CM制作プロジェクト
- ②同志社プロジェクション

また、1日限りのイベントとして、第1期の「同志社大学レスキューロボットプロジェクト」から続くロボット開発プロジェクトのメンバー、OP (Old Project-member) による「ものづくり教室」や、昨年度のプロジェクト「GE-SEN ~ゲーム制作センター~」の成果をもとにした「ゲームコーナー」など、「京田辺×同志社」で、学生はもちろん、市民のみなさんに体験していただける参加型イベントを企画中です。6月にスタジオZeroから発行された広報誌「ippo」にも少し予告記事が掲載されていますが、くわしい情報はWebやチラシなどで順次お知らせします。乞うご期待!!



プロジェクト・サポート
募金のお願い

学校法人同志社 総長 大谷 實
理事長 水谷 誠

学校法人同志社は、同志社大学ならびに同志社女子大学を中心とした法人内各学校が一致協力して同志社ローム記念館でのプロジェクト主義に基づく新しい教育・人材育成を積極的に進めています。また、これまで現代GP申請による補助金獲得など学外資金を積極的にとりにいれるべく努力をしております。この同志社独自の新しい教育・人材育成事業を発展的に展開させるために、教職員をはじめ広く社会、市民のみなさまからご支援をお願いすることとし、プロジェクト・サポート募金を実施しております。皆様方におかれましては是非ともご賛同いただき、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。募金のパンフレットおよび詳細につきましては、大学京田辺校地総務課（ローム記念館事務室）にお問い合わせください。募金は、大学資金課、女子大学経理課、各校事務室でも受け付けます。

DIR

[ディー・アール]



10年目のはじまり

スタジオZero始動!

2013年度プロジェクト紹介

2012年度最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会

プロジェクト活動レポート
イベント報告

DIR Information



Vol.18
July
2013

10年目はじまり

10年目

特集

10年目のはじまり

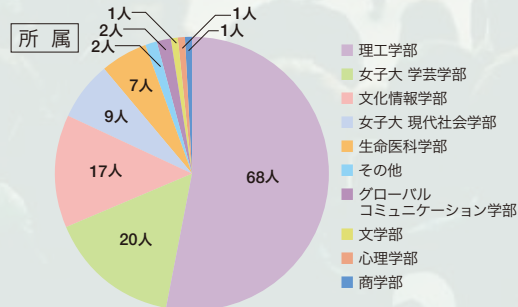
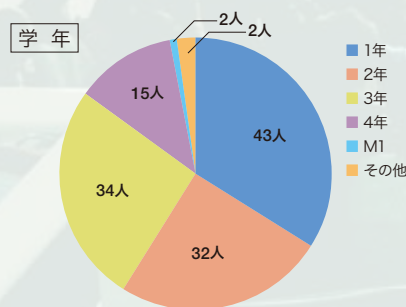
1

2013年度 同志社ローム記念館プロジェクト

2013年度 同志社ローム記念館プロジェクト

同志社大学の文系学部が今出川に統合移転し、キャンパスの環境が大きく変わった。昨年度まで約15%程度いた文系学生がわずか数名になるなど、メンバーの構成にも少し変化が見られるものの、プロジェクト毎の人数はほぼ昨年度と変わらない。学部・学科や学年の枠を越え、活動に励んでいる。

2013年度 プロジェクトメンバー



同志社ローム記念館プロジェクトでは、この春、第10期の6チームが活動をスタートした。チーム数は昨年度からほぼ半減ではあるが、選考の過程では、プロジェクトに対する思い入れと目標達成までのプロセスがイメージできているかどうかポイントとなった。

この2年間、「同志社ローム記念館大賞」は授与されていない。活動の進め方にも、成果のレベルにも、メンバーがとことんこだわってこそ「同志社ローム記念館プロジェクト」。課外プログラムという自由さゆえに、どこまでこだわるかは、メンバーのプロジェクトへの思い入れの深さと意志の強さが問われる。「自他共に認める大賞受賞プロジェクトが誕生すること」、これは本年度のプロジェクト運営における大きな目標だ。

また、10年をひとつの区切りとし、これからのプロジェクトのあり方について、一旦ゼロベースで考え直す時でもある。学生チーム「スタジオZero」とともに、プロジェクトの成功を目指し、新たな道を切り拓いていきたい。

スタジオZero始動!

この春新しく誕生したチーム「スタジオZero」。1年以上のプロジェクトを経験したメンバーを中心とした総勢35名の新チームである。館内で活動するプロジェクトの「成功」をサポートするのが彼らのミッションで、春から広報誌「ippo」の制作や説明会の企画・運営など、メンバー募集活動を牽引した。

昨年度の「舞台計画」から引き続き参加したメンバーも多く、ローム記念館の認知度向上を目的に、劇場空間など館の特徴を活かした夏イベント「ハツナツ」を開催するなど、広報面でのサポートも行っている。

スタジオZeroもこの春新メンバーを迎えたが、このチーム自体がローム記念館では新顔である。そんな彼らが他のプロジェクトを支えていくためには、新メンバーの育成のみならず、チーム自体のますますのパワーアップが必要だ。



10年目のはじまり

2

スタジオZero始動!

2013年度 プロジェクト紹介

学生や教員からの提案により、学生たちが自力で主体的に取り組む「公募プロジェクト」。今年は、6件全てが「公募プロジェクト」となり、学生ならではの視点を生かした成果を目指すプロジェクトが揃った。

ROBOX

(RM213)

【プロジェクト責任者】
橋本 雅文(同志社大学・理工学部教授)

【主な活動】
「ローム記念館に行けばロボットに会える」環境づくりを目指し、人間の動作に応じて動く、コミュニケーションロボットを開発、制作する。



【主な活動】
・ロボット製作
・ロボットと触れ合うイベント企画・運営
・マイコンプログラムのライブラリ公開
・ものづくり教室開催
・ロボットコンテストエントリー

歌留多ラボ

(RM215)

【プロジェクト責任者】
福田 智子(同志社大学・文化情報学部准教授)

【主な活動】
同志社大学所蔵の「伊勢物語御歌かるた」を活用し、若者に古典文化を伝えるためのWebサイトを企画、制作する。

【主な活動】
・「歌かるた」についての多角的な調査
・「伊勢物語」の超訳
・古跡めぐり、かるた会などのイベント企画・運営
・Webサイト構築、発信



コトNAVI

(RM218)

【プロジェクト責任者】
廣安 知之(同志社大学・生命医科学部教授)

【主な活動】
観光スポットと交通機関、イベントなどの情報を用いて、訪れる人が京都を楽しめるWebアプリケーションとスマートフォンアプリの開発を行う。

【主な活動】
・Webアプリケーションの企画・開発
・スマートフォンアプリの企画・開発
・京都市内の情報収集



同志社電子書籍プロジェクト

(RM219)

【プロジェクト責任者】
下原 勝憲(同志社大学・理工学部教授)

【主な活動】
2012年度プロジェクト科目で開発した電子書籍システム「Do! パビ」をプラットフォームとして、コミュニティ内における新たなコミュニケーション、つながりを創出する電子書籍システムを開発し、運用する。

【主な活動】
・ユーザとなる団体へのヒアリング、交渉
・システムの企画・開発
・システム導入にかかる広報
・システム導入後のフォロー



playful learning

(RM216)

【プロジェクト責任者】
上田 信行(同志社女子大学・現代社会学部教授)

【主な活動】
MITメディアラボで開発された子ども向けプログラミング言語「スクラッチ」を活用して創造性教育のための新たなワークショップの開発を行う。

【主な活動】
・「スクラッチ」を活用したワークショップの企画・運営
・シンポジウムの企画・開催



Gamitribution!

(RM217)

【プロジェクト責任者】
大久保雅史(同志社大学・理工学部教授)

【主な活動】
若者に職業や将来を考えるきっかけを提供できるようなゲームを開発し、運用する。

【主な活動】
・Androidゲーム制作
・ゲームのWeb公開と広報



プロジェクトメンバーからのメッセージ

同志社電子書籍プロジェクト

リーダー 木本 充彦(同志社大学 理工学部4年)



昨年度同志社大学プロジェクト科目で作り上げた電子書籍システム「Do! パビ」を更に発展させ、新しい可能性を拓いていくために、リーダーとしてチームをたちあげ、ローム記念館プロジェクトにエントリーしました。課外活動であるローム記念館プロジェクトで



は、自ら目的をもったメンバーが集まって自主的に活動を行います。4月のメンバー募集で、やる気のあるメンバーが沢山入ってくれたので、このチームでプロジェクト活動に真剣に取り組めば、いったいどんなことができ、何が得られるのか、非常に楽しみです。この貴重な機会に感謝し、これから一年間真摯にプロジェクト活動に取り組んでいこうと思います。

2012年度も、1年の活動期間が終了に近付き、3月9日(土)に「最終成果報告会・同志社ローム記念館プロジェクト大賞発表会」が開催された。

最終成果報告会では、1年間の活動内容と成果について各プロジェクトから報告をおこなう。委員や外部審査員、また、OP(Old-Project Member)からコメントやアドバイスをもらおうと共に、1年間様々な場で磨いてきたプレゼンテーションスキルを発揮する、プロジェクト最後のイベントである。

今年度の報告会は、劇場空間でのプレゼンテーションの後、各プロジェクトルームを会場として、活動の様子を見ながら質問やアドバイスをおこなう形式での「質問タイム」が設けられた。これは、中間報告会でも取り入れられ好評であったセッションで、委員や外部審査員だけでなく、メンバーもルームを歩き来して成果物や活動についての質問を互いにぶつけあった。



夕刻からは、プロジェクトの活動や成果に対して賞が授与される「同志社ローム記念館大賞 発表会」が、京田辺キャンパス食堂棟にあるカフェAmarc de Paradis Latteで開催された。最も素晴らしい成果を達成したプロジェクトに贈られる「ローム記念館大賞」は、昨年度に続いて「該当なし」という残念な結果となったが、「優秀賞」に京田辺市との誘致プロジェクト「遊び場マップ」を作ろう!!」が選ばれ、トロフィーと賞状、賞金等が授与された。また、今年もSCoP主催による学生相互評価による賞が設けられ、プレゼンテーションのスキルや活動内容や成果を互いに称えあった。

同じような取り組みの繰り返しに見えるプロジェクトも、毎年、活動の様子やメンバーからの意見をもとに少しずつ変化させながら、2012年度の終わりと共に9年の歴史を積み重ねた。何年目であっても、その時活動しているメンバーにとっては、かけがえのない唯一の“1年間”。時に悩み、涙し、仲間と共に笑い、色々な経験をつみ、メンバーはひとまわりもふたまわりも遅くなる、そんな“1年間”の歴史を脈々と紡いでいる。



受賞プロジェクト

同志社ローム記念館大賞 大賞

トロフィー・賞状・副賞(賞金10万円・記念品)

大賞

該当なし

同志社ローム記念館大賞 優秀賞

トロフィー・賞状・副賞(賞金5万円・記念品)

優秀賞

「遊び場マップ」を作ろう!!

誘致プロジェクト



【授賞理由】

メンバー全員で計画的に活動を進め、“親子のコミュニケーションツール”としての遊び場マップのプロトタイプを完成するという目標を見事に達成されました。誘致プロジェクトとして、京田辺市役所の方との連携はもちろんのこと、インタビューやフィールドワークなどの活動によって、多くの人とかかわりを持ちながら着実に活動を展開されたことは高く評価できます。また、同志社京田辺祭での活動は、本プロジェクトの後の活動に有効であっただけでなく、祭の活性化にもつながる素晴らしい取り組みでした。今回の経験をもとにメンバー各自が今後ますます活躍されることを期待しています。

- プロジェクトリーダー
藪北 寛之 (同志社大学大学院 生命医科学研究科)
- プロジェクト責任者
笠間 浩幸 (同志社女子大学現代社会学部 教授)
- 参加企業・団体
京田辺市 保健福祉部 ども福祉課
- メンバー数 22名

同志社ローム記念館大賞 奨励賞

トロフィー・賞状・副賞(記念品)

奨励賞

病院検索おたすけツール開発プロジェクト

誘致プロジェクト



【授賞理由】

誘致プロジェクトとして、企業のミッションを理解し、目標に向けて活発に活動を進められました。とくに中間報告会や同志社京田辺祭で得た来場者の意見やアドバイスに真摯に向き合い、病院検索サイト「Hospsee」を改良、公開されたことは評価できます。まだ広報活動の成果が十分あらわれておらず、サイトへの訪問者数が少なかったことは残念ですが、サイトの継続も予定されており、さらなる発展に期待しています。

- プロジェクトリーダー
小羽田 諭孝 (同志社大学 生命医科学部)
- プロジェクト責任者
廣安 知之 (同志社大学生命医科学部 教授)
- 参加企業・団体
株式会社 ティエムエス
- メンバー数 15名



同志社ものづくり推進プロジェクト



公募プロジェクト



- プロジェクトリーダー
清水健太 (同志社大学 理工学部)
- プロジェクト責任者
橋本雅文 (同志社大学理工学部 教授)
- メンバー数 17名

【授賞理由】

継続的な取り組みを通じて、確かな技術の蓄積と継承が果たされていることが実感できます。ものづくり教室では、子どもたちへの丁寧な指導を通じて次世代のものづくり産業を担う人材育成の一端に寄与できていると感じました。また、ローム記念館プロジェクト全体への貢献も評価できます。さらに高い技術の獲得や効率的な技術継承に励んでいかれることを期待しています。



外部審査員特別賞

賞状・記念品

「遊び場マップ」を作ろう!!

誘致プロジェクト



【外部審査員からのコメント】

- ・目標設定、ねらいが明確で、工程管理もしっかりしていて着実に活動を進めている様子が伺えました。
- ・このプロジェクトの成果をもとにした遊び場マップが京田辺市民に配布予定となっていて、実際の社会貢献が見込める点が評価できます。
- ・成果として提出されたマップに、その制作過程の努力がみられます。

学生相互評価 プロジェクト相互審査賞

メンバーから見て、最終成果と日常の活動の様子が最も素晴らしいと評価されたプロジェクトに贈られました。

同志社プロジェクト

公募プロジェクト



「遊び場マップ」を作ろう!!

誘致プロジェクト



ベストプレゼンテーション賞

最終成果報告会にて、最も素晴らしいプレゼンテーションをおこなったプロジェクトに贈られました。

workshop3.0

公募プロジェクト



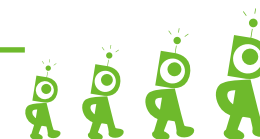
MVP(Most Variable Project-member)賞

各プロジェクトの中で、最もチームに貢献したメンバーが、メンバーからの推薦によって選ばれました。

- 同志社エコプロジェクト ～E-pho～
奥田知美
- コラボ KyoDO
庵原翔太郎
- workshop3.0
市川綾子
- ものづくり推進プロジェクト
清水健太
- 同志社プロジェクト
北野一樹
- Research Support
西山拓輝
- GE-SEN ～ゲーム制作センター～
南 亜衣
- 病院検索おたすけツール開発プロジェクト
則行祐作
- 「遊び場マップ」をつくろう!!
西澤克彦
- 京都歴史暦帳
服部穂月
- コアプロジェクト 舞台計画
雨森千周
- コアプロジェクト クリエイターバンク
矢倉和雄 (敬称略)



2012年度 プロジェクト トピックス



同志社プロジェクト

2013年1月18日(金)、3Dプロジェクションマッピングという、話題の新技术を使ったイベント「One Purpose—同志社設立の軌跡—」が開催された。

夜のローム記念館が映像で彩られ、寒い中、多くの人に足を止めていただいた。技術的に足りないところもあったが、ぎりぎりまでチャレンジを続け、コンテンツの制作は本番直前にまで及んだ。イベント実現までには実に多くの苦労があったが、遠くからわざわざ見に来てくれた方からの激励、足を止めて見てくれた人たちからの拍手を受けて、大きな達成感を得ることができた。



「遊び場マップ」をつくろう!!

同志社ローム記念館大賞優秀賞を受賞した本プロジェクトの成果は、地道なインタビューやフィールドワークによって完成させた京田辺市の「遊び場マップ」である。

この成果をもとに、京田辺市健康福祉部子育て支援課で最終調整と追加調査を行い、いよいよこの秋にマップが発行される。



同志社ものづくり推進プロジェクト

子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えるひとつの方法として選んだのは「ものづくり教室」。今回は、1年間の活動の締めくくりとして2月23日(土)に「ものづくり教室～輝け! プラズマボール～」(京田辺市地学連携推進事業)を開催した。過去のプロジェクトで培ったノウハウもあるが、実際に子どもたちに教えるのは初めて、というメンバーも多い。子どもたちとのものづくりを介したコミュニケーションで、メンバー自身も多くの学びを得た。



GE-SEN ～ゲーム制作センター～

本プロジェクトで制作したゲームのうち「迷探偵くーちゃん—AMOI美術館をさまよって—」が「第8回ふりーむ! ゲームコンテスト」の「脱出アドベンチャー部門」で銀賞を受賞した。





2013年度 プロジェクト活動レポート ウェイクアッププログラム

2013年5月9日(木)～5月31日(金)

プロジェクトにいち早く自分の居場所をつくり、チームに貢献できるメンバーになれること、そんなプロジェクトへの「目覚め」を手助けするのが「ウェイクアッププログラム」である。毎年の恒例行事だが、今年はネーミングにも趣向を凝らした。これまでの「ローム記念館活用ガイド」は「SHIKITARI」、CM制作ワークショップは「KAWARABAN-YA」など、それぞれのプログラムの持つ

意味、自分たちが取り組む活動の意義などについて、より深く考えてもらうためのきっかけづくりにしたいという思いからだ。

これらのプログラムへの参加を通して、自分のプロジェクトへの理解を深めるとともに、まわりのプロジェクトを見ることで、メンバーそれぞれの活動のスタンスもはっきりしてきたようだ。



5/9(木)・5/13(月)	5/11(土)・5/28(火)	5/16(木)	5/23(木)	5/31(金)
SHIKITARI	KAWARABAN-YA (CM編)	BANTO	IDOBATA	ZA
プロジェクトの枠組みやルールを知り、自分たちのプロジェクト運営を考える	映像制作について学び、各チームが協力してプロジェクトCMを制作する	会計責任者向けのプログラムで、活動費とプロジェクト全体を考える	対話からメールまで、コミュニケーションについて考えるワークショップ	これまでのプログラムを振り返るチーム別ワークと交流会



プロジェクトスタート・ポイントキャンペーン

2013年3月7日(木)～5月31日(金)

社会には、たくさんの「ポイント」が存在する。買い物や食事も、気がつけば「ポイントを貯める」ことを基準にして店を選んでいることがある。店の「思うツボ」にはまっているというわけだ。

今回のキャンペーンは、ポイント集めを競いあうことで、結果として活動のベース、チームができていく状態をつくる、という試みである。日頃の活動ひとつひとつを着実に進め、その習慣をつけることを主眼におき、プロジェクトのスタート時に必要となる手続きやメンバー募集、実施体制づくりに必要となる項目を視覚化して内容に応じたポイントを付与した。たかがポイント、であり、当たり前のことできて、だけなのだが、このキャンペーンが、チームのためにがんばるメンバーを増やすきっかけになり、少しでも楽しくチームづくりに取り組むことにつながれば、そんな思いで企画した。

最も多くのポイントを獲得したのは「ROBOX」で、賞状と副賞(ベーカーリーカフェ Johermiで使える金券)が贈られた。リーダーの乾 公昭さんは「事務的なことを含めて、こつこつと進めてきている活動が認められてうれしい」とコメントを残した。

優勝チームと最下位のチームとの差は12ポイント。結果を見て、「もっとちゃんとメンバー内で、やるべきことを共有しておけばよかった!」と悔しがるプロジェクトも、気づくのは少々遅かったが、これが、「思うツボ」。

同志社ローム記念館プロジェクトポリシーのひとつに「自己とプロジェクトチーム、自己と社会について考える機会を提供し、活動および成果の質向上を目指します」という一文があるが、ローム記念館プロジェクトもひとつの小さな社会。まずはその中でさまざまな体験をし、実際の社会に通用する活動、成果を目指してほしい。



Event Report

イベント報告

2013年1月～
2013年6月

● イベント

新春特別企画～ロームに参ろう～

1月7日(月)～11日(金)
新年の始まりにローム記念館で「お正月」を感じてもらおうと、館前での餅つき大会や、館内ベーカーリーショップでのおみくじ配付、大風の館内装飾などが催された。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「舞台計画」

2012年度セメスタープログラム(ハワイ) 成果報告会

1月11日(金)
主催：同志社大学 言語文化教育研究センター

presentation3.0～プロジェクトメンバー向けワークショップ～

1月17日(木)
館内で活動する全プロジェクトが2Fオープンスペースに集い、活動目的のプレゼンテーションと、テーブル毎でのセッションをおこなった。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「workshop3.0」

One Purpose～同志社設立の軌跡～

1月18日(金)
ローム記念館外をスクリーンに、最新技術「3Dプロジェクションマッピング」を用いた映像ショーを開催。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「同志社プロジェクション」

presentation3.0

～オーディエンスをhappyにさせるプレゼンテーション～

1月21日(月)
同志社女子大学の学生2名によるプレゼンテーション。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「workshop3.0」

内閣府青年国際交流事業の報告会

1月22日(火)
主催：京都YED (International Youth Exchange Organization, 日本青年国際交流機構)

presentation3.0

～workshop3.0のプロジェクトメンバーによるプレゼンテーション～
1月24日(木)
workshop3.0の1年間のプロジェクト活動を通して伝えたいことをプレゼンテーション。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「workshop3.0」

同志社女子大学 情報メディア学科 進級制作展「MEDIART」

2月20日(水)～25日(月)
同志社女子大学情報メディア学科3年次生の中で、主にメディアデザインを学んできた学生によるデザイン・アート展。21日には、研究内容を発表するポスターセッション「Cross Talk 2012」も催された。

主催：同志社女子大学 学芸学部 情報メディア学科

ものづくり教室「輝け! プラズマボール」

2月23日(土)
ものづくり教室で子供たちと一緒に「プラズマボール」を作り、今まで制作したロボットの展示もおこなった。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「同志社ものづくり推進プロジェクト」

第7回 全国大学まちづくり政策フォーラム in京田辺

3月3日(日)～5日(火)
全国の大学から大学生や大学院生が集まり、まちづくりに関する政策提言をおこなった。

主催：「全国大学まちづくりフォーラムin京田辺」実行委員会

共催：京都府京田辺市、同志社大学

2012年度 同志社ローム記念館プロジェクト「最終成果報告会」

3月9日(土)
(詳細は、P5～P8を参照)

主催：同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

"Ori" ginal Stage～オリ実による学生団体・サークル紹介～

4月2日(火)～4月4日(木)

【出演団体】

4月2日(火) 同志社ローム記念館プロジェクト
4月3日(水) Hocus Pocus、同志社ローム記念館プロジェクト
4月4日(木) 体育会弓道部、体育会合気道部、よさ朗、
京都よさこい連 心粋、同志社ローム記念館プロジェクト

主催：2013年度 同志社大学 オリエンテーション実行委員会

同志社ローム記念館プロジェクト 説明会

4月5日(金)
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」

"アメリカ" 国際インターンシップ参加説明会

4月10日(水)
主催：同志社エンタープライズ
後援：同志社大学 キャリアセンター

同志社交響楽団 新歓田辺アンサンブル

4月11日(木)
主催：同志社交響楽団

劇場空間へ行こう!

4月15日(月)～19日(金)
ランチタイムに、日替わりでサークルと本年度のプロジェクトを紹介。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」

2013年度 同志社ローム記念館プロジェクト「スタートアップ報告会」

4月18日(木)
今年度活動する7チームが、プロジェクトの目標と活動内容について、プレゼンテーションをおこなった。その後、プロジェクトメンバーと来場者が親睦を深めるためのワークショップや交流会も開催された。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

京田辺水曜チャペル・アワー「逝去者追悼礼拝」

4月24日(水)
主催：同志社大学 キリスト教文化センター

Scratch Day

5月18日(土)
子供から大人までが簡単に使えるプログラミング言語「Scratch」についての理解を深めるワークショップ。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「playful learning」

Doshisha Spirit Week 2013 春

5月27日(月)
主催：同志社大学 キリスト教文化センター

インターンシップ・ガイダンス

6月14日(金)
主催：同志社大学 キャリアセンター

志舞踊祭り～京炎 そでふれ! SP ver.披露～

6月17日(月)
主催：京炎 そでふれ! 志舞踊

青年海外協力事業 活動報告

6月18日(火)
主催：同志社大学 京田辺校地 学生支援課

ハツナツ

6月26日(水)～27日(木)
浴衣ファッションショーやよさこいの演奏など、夏を感じるイベントを開催。

主催：同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」

● 展示

フォーミュラカーの展示

1月7日(月)～
主催：同志社大学 機械研究会

新二回生展

5月7日(火)～5月10日(金)
主催：同志社大学 写真同好会

グローバル・フロムナード

5月23日(木)～24日(金)
過去に留学プログラムに参加した学生が作成したポスター展示と、プレゼンテーション

主催：同志社大学 国際課

